

# 浦舟だより

令和元（2019）年 6月 3日

第 3 号（第240号）

横浜市立浦舟特別支援学校  
E-mail: ysurafun@edu.city.yokohama.jp

## 梅雨を楽しむ

副校長 花井 旬克子

令和元年がスタートして一か月が過ぎました。例年より遅れて医大通りのヤマボウシの葉の緑が、日ごとに濃くなるとともに、紫陽花（あじさい）の花が出番を待ちきれず、あちこちで咲き始めました。

梅雨の季節に、パツと明るさを与えてくれる紫陽花は、小さな花が集まり、華やかで大きな花を咲かせてくれます。原産国が日本の紫陽花には、現在 50 以上の多様な品種があります。紫陽花は「ガクアジサイ」と「ハイドランジア」の 2 種類に分類され、現在一般的に見られる紫陽花は西洋種である「ハイドランジア」です。「ハイドランジア」は日本の固有種であった「ガクアジサイ」を西洋で品種改良し、大正時代に日本に逆輸入されました。どちらの種類も、土壌の pH 値によって花の色が変わり pH 値が酸性であれば青系の花を、アルカリ性であれば赤系の花を付けます。つぼみの緑色からほんのり色付き、様々な色に変化する紫陽花。見るたびにいろいろな表情を見せ、楽しませてくれます。しとしと降る雨と紫陽花のコントラストは、日本の梅雨を代表する風景の一つです。

さて、これから梅雨本番、傘が手放せません。道行く人のいきなり開いた傘が顔をかすめてヒヤッしたり、道幅いっぱい歩くグループにイライラしたり、持ち歩く傘が当たって痛い思いをしたことはありませんか。傘を差したまま、人とすれ違うときに思い出したいのが、「傘かしげ」。なんとも素敵な響きをもつこのしぐさは、道ですれ違うときに傘と傘がぶつかったり、雫がかかったりしないよう、相手と反対側にスッと傘を傾けることをいいます。さらに、持ち歩いてすれ違うとき、さりげなく傘を反対側に持ち替えることができれば、気配り上級者ですね。

雨が好きな人の中には、「窓や屋根に当たる雨音に耳を澄まして聞いていると、心地よくリラックスでき、雨の音に癒される。」という人もいますが、みなさんはどうでしょうか。雨の音に含まれる「1/f ゆらぎ」のリズムは、私たちの身体を動かすリズムと共通していて、聞くだけでゆったりとした安心感に包まれます。雨の音を聞いていると、実際に、ゆったりした気持ちになった経験をされた方もいらっしゃるのではないのでしょうか？

私たちは、雨の日を表現するのに「天気が悪い」、「あいにくのお天気」というマイナスの言葉を使ったりもします。国民文学作家の吉川英治さんの言葉に『晴れた日は晴れを愛し、雨の日は雨を愛す 楽しみあるところに楽しみ 楽しみなきところに楽しむ』とあるように、かけがえのない一日一日を大切に、時を過ごしていけ



たらと思います。

## すてきなかご

～センター院内学級～

院内学級では、最近、かご作りが人気です。クラフトテープを互い違いに編み込んで作っていきます。作っているのは、小物が入るくらいの大きさです。色の組み合わせを考えたり、網目の間隔を工夫したり、ペーパークイリングで飾りを作ったり、よりすてきな作品にしようと意欲的に取り組んでいます。どの作品も、完成したときの達成感は最高です。



浦舟複合福祉施設（本校）の紫陽花です。

## 春が過ぎて・・・

～福浦院内学級～

あっという間に春が過ぎ、桜の花が満開だった院内学級の木も、すっかり爽やかな新緑の木に模様替えしました。

また、「染紙」で、あじさいを作成しました。染紙は、折り方や絵の具の濃さによって、模様の付き方や色の広がり方が異なり、同じものはありません。それぞれ、できる模様を楽しみながら、素敵な作品を作ることができました。

作品は教室前の廊下に掲示してありますので、是非ご覧ください。



## 手と手

～訪問指導学級～



ムシムシする季節になりました。

訪問学級では、いろいろなお茶の匂いを楽しみながら、手浴をしたり、音楽の授業で教員と一緒に伴奏したりして、雨の日も楽しく過ごしています。季節の野菜などを使い、アート作品も手がけています。



## 6月の予定

- 2日（日）横浜開港記念日
- 3日（月）全校朝会
- 10日（月）～14日（金）  
                  中学部 中間試験週間
- 12日（水）薬剤師訪問（市民）
- 17日（月）内科検診（本校）
- 19日（水）ドッグセラピー（福浦）
- 21日（金）短縮授業（福浦・市民・みなと）
- 25日（火）ホスピタルクラウン（福浦）
- 26日（水）歯科検診 講話（センター）
- 28日（金）Being ALIVE スポーツ体験（福浦）
- 7月1日（月）全校朝会・開校記念日

